寺社を巡る会

活　動　記　録　書

開 催 日： 令和３年４月１日（木）晴れ時々曇り	**開催テーマ**： 富岡の古道を歩いて寺社めぐり
開催場所： 金沢区	**記 入 者**： 瀬川　健次

参加人数　：会員　　男　　１８名　　女　　７名　　計　　２５名
　　ビジター　男　　０名　　女　　０名　　計　　０名
　　合計　　２５名

実地内容（実地の項目、方法、効果、成果、宿題　など）

コース　：京急富岡駅（集合）→富岡トンネル→富岡古道→経塚→谷戸坂地蔵尊→持明院→悟心寺→宝珠院→十二天鼻松方正義別邸跡→慶珊寺→豊島明重父子供養塔→直木三十五文学碑→長昌寺→富岡八幡公園(解散)

京急富岡駅に集合し、スタートはすぐそばの富岡トンネルへ。昭和 20 年 6 月 10 日終戦間際の日曜日に米軍の富岡駅空爆により、富岡トンネルではたくさんの死人がでた。

そしていきなり二松庵裏山の急坂を上り、富岡古道の稜線を 40 分余り上り下りしながら歩く。「十三の丘」が富岡の名前になったとの事、驚きである。富岡古道は数百メートル歩くと、大きな古木が多く見晴らしもすこぶる良い尾根道である。途中の経塚は持明院の墓地で通称「丁塚墓地」と呼ばれている。

更に進むと路傍に谷戸坂地蔵尊がある。安永 5 年(1776)に地元の野本かなさんが建立された小さな地蔵尊である。富岡には野本家の他、鹿島家、大胡家、吉川家と代々名主を務められた旧家がある。

尾根道を下りて持明院に着く。山号は海照山、真言宗御室派。本尊は大日如来像であるが本堂には入れず。金沢札所巡りの 33 番、34 番の結願寺である。

次は悟心寺、創建は古く鎌倉時代である。臨済宗建長寺派に属し、北条家の末寺で静かなたたずまいの中に地蔵菩薩像が祀ってある。

続いて宝珠院へ。金沢区内の寺院 30 寺の中で 13 寺が真言宗御室派であり、その中の一つである。本尊は大日如来坐像で豊島明重によって創建された。

国道 16 号線を横切り少し歩くと慶珊寺。本尊は大日如来で、ここも真言宗御室派。江戸時代に刀傷事件を起こした豊島明重父子の供養塔がある。また富岡トンネルで戦災を受けた方達の供養塔がある。寺の裏手には大正から昭和の初めに活躍した文豪、直木三十五の文学碑と直木邸跡がある。

旧海岸道を歩き長昌寺へ。　臨済宗建長寺派、本尊は釈迦如来像。天正 2 年(1574)に柳下豊後守が建立した。観音堂には芋観音と呼ばれる観音像が祀られている。毎年 3 月初めには「芋観世音御開帳」が開かれる。残念ながら昨年と今年度はコロナ感染で開催されなかった。本堂裏に直木三十五と胡桃沢耕史の墓がある。

参加者の状況・意見など

新型コロナウイルス感染の中で密を避け5班に分けての富岡古道を歩いての寺社巡り、富岡古道を登る途中で今年初めての鶯の鳴き声を聞くことができ、往時を偲びながら楽しく散策が出来た。

次回の予定

５月６日（木）京急金沢八景駅１０時集合　　「金沢八景の道」